

平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月4日

上場取引所 東大

上場会社名 極東開発工業株式会社

コード番号 7226 URL <http://www.kyokuto.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長最高執行責任者 (氏名) 筆谷 高明

問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役専務専務執行役員 (氏名) 中井 一喜

四半期報告書提出予定日 平成23年11月11日

配当支払開始予定日

TEL 0798-66-1500

平成23年12月2日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	29,711	7.3	767	237.5	762	322.1	743	564.8
23年3月期第2四半期	27,689	15.6	227	—	180	—	111	—

(注)包括利益 24年3月期第2四半期 695百万円 (—%) 23年3月期第2四半期 △109百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
24年3月期第2四半期	18.72	—
23年3月期第2四半期	2.82	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	%	百万円	%	%
24年3月期第2四半期	88,264	—	53,429	—	60.5
23年3月期	88,118	—	52,892	—	60.0

(参考)自己資本 24年3月期第2四半期 53,429百万円 23年3月期 52,892百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
23年3月期	—	3.00	—	4.00	7.00
24年3月期	—	4.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	5.00	9.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	63,000	9.2	2,000	67.3	2,100	67.8	1,600	81.3	40.27

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

通期の業績予想につきましては、当第2四半期連結累計期間の業績を踏まえ、また足元の業績が比較的順調に進捗していることから、現時点で入手可能な情報や予測等を勘案し、平成23年8月8日に公表いたしました業績予想を上記の通り修正いたします。

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(注)詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(その他)」に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期2Q	42,737,668 株	23年3月期	42,737,668 株
24年3月期2Q	3,005,217 株	23年3月期	3,005,055 株
24年3月期2Q	39,732,532 株	23年3月期2Q	39,732,861 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、今後の様々な要因により実際の業績が予想値と異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報等	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、東日本大震災の影響により落ち込んだ経済活動が緩やかに回復する場面も見られましたが、急激な円高の進行など景気の下振れ懸念もあり、依然として先行き不透明なまま推移しました。

このような状況下、当社グループは収益性の改善に積極的に取り組むなど企業体質の強化に注力いたしました。

主力の特装車事業につきましては、国内市場は徐々に回復し、夏以降においては震災に伴い生産が延滞していた車両の供給が正常化したことや、復興需要および自動車排出ガス規制強化前の中小型トラックの駆け込み需要が増加しました。環境事業につきましては、同じく震災の影響で、一部自治体の予算計画が見直されたことなどもあり、引き続き先行き不透明なまま推移しました。不動産賃貸等事業につきましては、立体駐車装置の需要低迷などにより、厳しい受注環境が継続しました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は前年同期と比較して、売上高は特装車事業の受注改善などにより2,021百万円(7.3%)増加して29,711百万円となりました。営業利益は売上高の増加などにより、540百万円(237.5%)増加して767百万円、経常利益は581百万円(322.1%)増加して762百万円、四半期純利益は631百万円(564.8%)増加して743百万円となりました。

次に連結ベースでのセグメント別の概要を前年同期と比較してご説明申し上げます。

①特装車事業

特装車事業につきましては、国内の市場環境は徐々に回復基調で推移しました。輸出は、急激な円高の進行により厳しい環境で推移しました。

このような状況のもと、当社は、国内につきましては復興需要および自動車排出ガス規制強化前の駆け込み需要に最大限対応すべく生産力の確保に取り組みました。海外につきましては、インド工場(MITHRA KYOKUTO SPECIAL PURPOSE VEHICLE CO., PVT LTD.: アンドラ・プラデシュ州 ビジャヤワダ)の建設を進め、当連結会計年度中の稼働に向けた準備を推進しました。

この結果、売上高は1,459百万円(6.4%)増加して24,131百万円となりました。営業損益は、売上高が増加した結果、631百万円改善して265百万円の利益となり、黒字に転換いたしました。

②環境事業

環境事業につきましては、国内では引き続きメンテナンス・運転受託に注力し、確実な利益の確保に努めました。

また、昆山工場(中国)に破砕機のデモラインを設置するなど海外展開の強化を図りました。

この結果、売上高は482百万円(17.9%)増加して3,183百万円、営業利益は38百万円(11.9%)減少して284百万円となりました。

③不動産賃貸等事業

不動産賃貸等事業につきましては、立体駐車装置のリニューアル事業やメンテナンス受注の確保に努めましたが、需要の低迷などにより引き続き厳しい環境で推移しました。

この結果、売上高は104百万円(4.1%)増加して2,658百万円となりました。営業利益はほぼ横ばいの410百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の財政状態は、前連結会計年度末と比較して、総資産は145百万円(0.2%)増加して88,264百万円となりました。

流動資産につきましては、たな卸資産が増加したこと等により313百万円(0.7%)増加して44,590百万円となりました。

固定資産につきましては、減価償却費の計上等により168百万円(0.4%)減少して43,673百万円となりました。

負債につきましては、流動負債は支払手形及び買掛金が増加したこと等により1,167百万円(5.5%)増加して22,221百万円、固定負債は社債及び長期借入金の返済等により1,558百万円(11.0%)減少して12,613百万円となりました。

純資産につきましては、四半期純利益を計上したこと等により、536百万円(1.0%)増加して53,429百万円となりました。

なお、当第2四半期連結会計期間末現在の自己資本比率は60.5%(前連結会計年度末60.0%)となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の業績予想につきましては、当第2四半期連結累計期間の業績を踏まえ、また足元の業績が比較的順調に進捗していることから、現時点で入手可能な情報や予測等を勘案し、平成23年8月8日に公表いたしました業績予想を以下の通り修正いたします。

平成24年3月期通期連結業績予想値の修正(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A) (平成23年8月8日発表)	61,500	1,700	1,800	1,500	37.75
今回修正予想(B)	63,000	2,000	2,100	1,600	40.27
増減額(B-A)	1,500	300	300	100	—
増減率(%)	2.4	17.6	16.7	6.7	—
前期実績 (平成23年3月期)	57,686	1,195	1,251	882	22.21

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

重要な連結子会社以外の連結子会社については、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しています。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項ありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,609	3,421
受取手形及び売掛金	21,177	20,918
有価証券	7,948	10,150
商品及び製品	93	323
仕掛品	1,888	2,232
原材料及び貯蔵品	5,755	5,883
前払費用	282	389
繰延税金資産	1,115	999
その他	555	488
貸倒引当金	△149	△216
流動資産合計	44,277	44,590
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	13,042	12,703
機械装置及び運搬具（純額）	1,691	1,620
土地	19,331	19,290
建設仮勘定	15	84
その他（純額）	872	811
有形固定資産合計	34,954	34,510
無形固定資産		
その他	356	342
無形固定資産合計	356	342
投資その他の資産		
投資有価証券	5,584	5,503
長期前払費用	674	606
繰延税金資産	913	1,402
その他	2,736	2,638
貸倒引当金	△1,378	△1,330
投資その他の資産合計	8,531	8,819
固定資産合計	43,841	43,673
資産合計	88,118	88,264

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	12,014	13,101
短期借入金	2,620	2,620
1年内償還予定の社債	494	494
1年内返済予定の長期借入金	1,864	1,667
未払法人税等	158	193
未払消費税等	319	194
未払費用	2,120	2,231
引当金	558	625
その他	905	1,093
流動負債合計	21,053	22,221
固定負債		
社債	1,135	888
長期借入金	3,967	3,231
長期預り保証金	3,455	3,342
退職給付引当金	2,189	2,107
その他の引当金	125	128
負ののれん	753	564
繰延税金負債	1,494	1,491
その他	1,052	859
固定負債合計	14,172	12,613
負債合計	35,225	34,834
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,899	11,899
資本剰余金	11,718	11,718
利益剰余金	31,254	31,838
自己株式	△2,145	△2,145
株主資本合計	52,727	53,312
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	366	243
為替換算調整勘定	△201	△126
その他の包括利益累計額合計	165	116
純資産合計	52,892	53,429
負債純資産合計	88,118	88,264

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	27,689	29,711
売上原価	22,821	24,103
売上総利益	4,868	5,607
販売費及び一般管理費	4,640	4,840
営業利益	227	767
営業外収益		
受取利息及び配当金	60	69
負ののれん償却額	188	188
雑収入	43	21
営業外収益合計	292	279
営業外費用		
支払利息	84	85
持分法による投資損失	45	42
為替差損	147	94
雑支出	62	62
営業外費用合計	339	284
経常利益	180	762
特別利益		
固定資産売却益	0	16
貸倒引当金戻入額	36	—
投資有価証券売却益	53	0
その他	0	0
特別利益合計	91	17
特別損失		
固定資産処分損	15	28
早期割増退職金	9	26
災害による損失	—	79
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	92	—
その他	0	3
特別損失合計	118	137
税金等調整前四半期純利益	153	642
法人税等	41	△101
少数株主損益調整前四半期純利益	111	743
少数株主利益	—	—
四半期純利益	111	743

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	111	743
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△188	△123
為替換算調整勘定	△26	72
持分法適用会社に対する持分相当額	△5	1
その他の包括利益合計	△221	△48
四半期包括利益	△109	695
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△109	695
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	153	642
減価償却費	951	860
のれん償却額	13	—
負ののれん償却額	△188	△188
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△135	△82
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△178	43
その他の引当金の増減額 (△は減少)	△96	△23
受取利息及び受取配当金	△60	△69
支払利息	84	85
その他の営業外損益 (△は益)	146	31
持分法による投資損益 (△は益)	45	42
投資有価証券評価損益 (△は益)	—	0
投資有価証券売却損益 (△は益)	△53	△0
固定資産売却損益 (△は益)	△0	△15
固定資産除却損	15	27
売上債権の増減額 (△は増加)	△315	363
たな卸資産の増減額 (△は増加)	596	△695
その他の資産の増減額 (△は増加)	△210	△56
仕入債務の増減額 (△は減少)	391	1,088
その他の負債の増減額 (△は減少)	△92	104
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△211	△121
小計	854	2,035
利息及び配当金の受取額	60	69
利息の支払額	△84	△55
法人税等の支払額	△256	△155
営業活動によるキャッシュ・フロー	574	1,894
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	—	500
固定資産の取得による支出	△268	△370
固定資産の売却による収入	11	61
投資有価証券の取得による支出	△39	△167
投資有価証券の売却による収入	170	5
短期貸付金の増減額 (△は増加)	△45	—
長期貸付けによる支出	△3	△14
長期貸付金の回収による収入	2	5
投資活動によるキャッシュ・フロー	△172	20

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	4,000	—
長期借入金の返済による支出	△751	△933
社債の償還による支出	△247	△247
自己株式の取得による支出	△0	△0
自己株式の売却による収入	—	0
リース債務の返済による支出	△218	△48
配当金の支払額	△119	△158
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,663	△1,388
現金及び現金同等物に係る換算差額	△6	△13
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	3,058	513
現金及び現金同等物の期首残高	11,067	13,058
現金及び現金同等物の四半期末残高	14,126	13,572

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	特装車事業	環境事業	不動産賃貸等 事業	計		
売上高						
(1) 外部顧客に 対する売上高	22,670	2,700	2,318	27,689	—	27,689
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	0	236	237	△237	—
計	22,671	2,700	2,554	27,926	△237	27,689
セグメント利益又は損失(△)	△365	323	409	367	△140	227

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額△140百万円には、セグメント間取引消去9百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△149百万円が含まれています。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	特装車事業	環境事業	不動産賃貸等 事業	計		
売上高						
(1) 外部顧客に 対する売上高	24,125	3,183	2,402	29,711	—	29,711
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	5	—	256	262	△262	—
計	24,131	3,183	2,658	29,973	△262	29,711
セグメント利益	265	284	410	961	△193	767

(注) 1 セグメント利益の調整額△193百万円には、セグメント間取引消去5百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△198百万円が含まれています。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。